

水源涵養や土砂災害の防止等、森林の多面的な機能を発揮させるため、国の「特定機能回復事業」及び「美しい森林づくり基盤整備交付金」を活用し、平成30年9月の台風21号により被災した森林再生を含む間伐や下刈りなどの森林整備を行うもの。

■事業概要

<作業内容>

- ①特定機能回復事業・・・特殊地拵え 2.08ha、造林 4.89ha、作業道 920m
- ②美しい森林づくり基盤整備事業・・・森林調査 2.91ha、植生基盤工 0.34ha

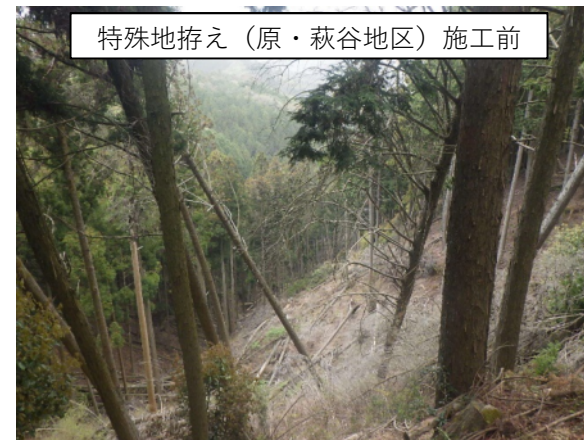
<費用負担>

- ①国 約51%、府 約17%、市 約15～32%
- ②国 50%、市 15～47%、事業実施主体 3～35%

<事業主体>

大阪府森林組合

※市費及び国費・府費は森林組合へ補助金として執行



■令和6年度実績

森林の多面的な機能を発揮させるため、森林経営計画地内で間伐・下刈り等（風倒木処理を含む）の森林整備として特殊地拵え、造林、作業道作設などを実施した。

従って、事業主体である大阪府森林組合に対して以下の補助額の通りに支援を行った。

<事業実績>

- ①特定森林再生事業・・・6,783千円(市補助額)
- ②美しい森林づくり基盤整備事業・・・8,797千円(市補助額)－4,640千円(国交付金)
＝4,157千円

◇基礎データ

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

①令和6年度譲与額：55,655千円		②私有林人工林面積（※1）：2,291ha	
③林野率（※1）：47%	④人口（※2）：352,698人	⑤林業就業者数（※2）：32人	

度重なる豪雨などにより再度被災した森林災害復旧事業地について、市の「造林事業地の災害復旧事業」を活用し、事業地の修復及び強靱化を図り、森林再生を促進するもの。

■事業概要

<作業内容>

③造林事業地の災害復旧事業・・・土工 一式、筋工 107m、法面・植栽工 0.14ha
ほか

<費用負担>

③市100%

<事業主体>

大阪府森林組合 ※市費は森林組合へ補助金として執行



法面工（中畑地区）施工前

■令和6年度実績

災害復旧事業完了後、再度被災した樫田2号線浄水場北側の民有林について、土工、筋工、法面工、植栽工及び排水工などを実施した。

従って、事業主体である大阪府森林組合に対して以下の補助額の通りに支援を行った。

<事業実績>

③造林事業地の災害復旧事業・・・15,220千円(市補助額)



法面工（中畑地区）施工後

■積立基金

譲与額 = 55,655千円

森林環境保全整備事業① + ② + ③ = 30,799千円（上乘補助充当）

国交付金（美しい森林づくり基盤整備事業） = 4,640千円

積立基金 = 55,655千円 - 30,799千円 + 4,640千円
= 29,496千円

◇基礎データ

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

①令和6年度譲与額：55,655千円		②私有林人工林面積（※1）：2,291ha
③林野率（※1）：47%	④人口（※2）：352,698人	⑤林業就業者数（※2）：32人